

2 目標達成計画

事業所名：グループホームはごろも

作成日：平成27年2月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	職員主体の支援になり、利用者のペースや希望に沿った対応ができない時がある。	利用者一人ひとりの生活のペースや希望を大切にしながら、充実した生活が送れるように支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士協力しながら個別に関わる時間を設け、一人ひとりの希望や生活のペースの把握を行い情報をスタッフ間で共有する。 一人ひとりにあった役割・レク活動等見極め、日々の生活が充実できるよう対応していく。 	6 か月
2	42	自分で口腔ケアを行う方の口腔内環境は把握できない部分がある。	利用者、個々の状態にあった口腔ケアを行い口腔内の清潔保持に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 自分で行う方に関しては定期的に確認を行い必要な際は介助を行う。 一部介助、全介助の方は口腔ケアの都度確認を行う。 必要な際は歯科医師より指導いただき、もしくは受診対応を行う。 	12 か月
3	36	時折、声かけや対応がふさわしくない時がある	プライバシーに配慮しつつ、自尊心を傷つけないよう常に敬意をはらった対応を心がける。	<ul style="list-style-type: none"> トイレ等の声かけは周りの状況にも気を配りながら本人の側で行う。 人生の先輩であることを念頭に置き、その場にふさわしい声掛け、対応を行い、自尊心を傷つけないようにする。 職員同士の私語は慎む。 	12 か月
4	34	事故や急変時の対応に不安がある。	事故や急変時に対応できるよう知識、対応力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 疾病や服薬等含め、一人ひとりの身体、精神状況を把握する。 マニュアル整備、確認を行う。 研修等に参加し、知識、技術の習得を行う。 	12 か月
5		介護度、認知症の程度の差が大きく試行錯誤しながら対応しているが、関係性づくりが上手くできない。	利用者同士で、良好な関係性が築けるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の相性を考慮しながら居場所づくりを行う。 職員が間に入りながら利用者同士の関係性の構築を図っていく。 利用者の気持ちをくみ取れるよう個別に対応する時間を設ける。 	12 か月